世界のビーズ最前線

行ってきました

世界のビーズファンがアメリカ、ミルウォーキーに集結。全米 今年も開催されました。本場でオフルームを学びたいという で最大規模のビーズショー「BEAD&BUTTON Show」が ズのお仕事に携わる水野さんから見たビーズショーをレポー 水野久美子さんが日本から参加。 ビーズの本の編纂などビー トしてもらいました。 取材·文 水野久美子

ルで行われたワ

しました。

ヒーズのお祭り、ビーズ

ズショーに行って来ました。 ン州ミルウォーキーで行われたビ 2週間に1度はどこかで開催され 今年5月、アメリカのウィスコンシ

世界中から集まってくる、まさにビー が目的の業者など、国内だけでなく を楽しみしているビーダーや買付け ベント。年に一度のこのビーズショー 参加するブース300という一大イ 習会)290、マーケットプレイスに 主催で、8日間にわたって開催され、 は中でも、アメリカーと言われる ているというほどビーズショーが盛 人のお祭りなのです。 BEADS&BUTTON ShowJo んなアメリカ。今回私が参加したの 7間中に行われるワークショップ(講 ズ雑誌「BEADS&BUTTON」の

Rose Garden Necklace

参加者パス



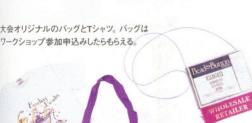
オフルームの第一人者ダイアンと筆者。

日から早速、メイン会場であるホテ

時差の疲れを癒す間もなく、翌

トに、さらに国内線に乗り換えて 時間、ミルウォーキーには夕方到

成田を出発して11時間後デトロ



り寄せたりして自分なりに勉強しま でオフルームを学びたいというの れる人が日本にはまだ少なく、本場 も優れ、昨年初めて見て魅了されま が、今回の最大の目的でした。 したが、オフルームを専門に教えら した。それ以来アメリカから本を取

を過ごしました。 和やかな雰囲気の中で、 り、参加者同志おしゃベリしたりと せんが、ダイアンがジョークを言った 聞くと大変だと思われるかもしれま ランチタイムを挟み、夕方まで。そう

ダイアンの授業は、 朝の9時から

地よい装着感があり、デザイン性に

はしつとりと肌になじむような心

と糸で作るオフルームのアクセサリ

アン・フィッツジェラルドのクラスで す。日本で主流のテグスと違い、針

が、オフルーム手法の第一人者ダイ この中で一番楽しみにしていたの

私が申込んだのは、3つのクラス。